

東海大学付属諏訪高等学校

PTA会報

発行：東海大学付属諏訪高等学校 PTA

編集：会報委員会

印刷：(株)美騰堂



PTA活動について

東海大学付属諏訪高等学校

PTA会長 清水浩明

曇りも和らぎ清々しい秋風の吹く頃となり
二雨ごとに秋色が深まる季節となりました。
保護者の皆様方におかれましては、日頃より
PTA活動に多大なるご理解と協力を賜り
心より御礼申し上げます。

時の経つのは早く、五月に開催されました
PTA総会から早くも四ヶ月が経過しました
が、PTA会長拝命後、諏訪地区PTA総会
や、北信越地区PTA連合会研究会に参加し、
時代の変化に伴う課題や、他校PTA活動に
ついての発表を拝聴し、PTAに関する知識を
学ぶ中、本校PTA活動について私なりに回想
するとともに、今後の活動について思想して
みました。

東海大学付属諏訪高等学校におけるPTA
Aは「保護者と教師が密に連絡し、家庭と
学校と社会とが一体となつて本校に在学する
生徒の健全な成長を願ひ、学校教育活動及
び諸事業に参加、後援するとともに、本学
園を理解し、会員相互の親睦を深めること」
を目的として活動しております。

六月に開催されました各地区総会は大勢
の保護者の皆様に参加いただき盛会に開催す
ることができました。この各地区総会におけ
る学年懇談会は東海大学付属高校ならではの
の取り組みであり、家庭における学習の状況
や、今後の進路、子供達の学校生活の状況
等について説明頂き、保護者が課題とする事
項についても意見交換を行うなど、保護者と
先生が密に懇談を行う事ができました。ま
た、各委員会活動におきましては、委員が中
心となり先生にご助言を頂きながら議題につ
いて活発な意見交換を行い、目的とする事案
がより良い内容となるよう積極的な取り組
みとなっております。

先に開催されました建学祭におけるPTA
バザーでは、生徒が企画する模擬店とPTAバ
ザーの内容が被らない事や、天候を考慮した
内容とする中、直前まで調整を行い当日は準
備したバザー品のほぼ全てが完売となりまし
た。また、展示におきましても多くの皆様方
から出品頂いた芸術品や制作作品を多数展示
し盛会裏に開催する事ができました。来場
された多くの保護者、近隣地区の皆様方に
大変好評いただけるとともに、多くの生徒と
コミュニケーションが図れ、人と人との繋がりの
あるPTA活動となっております。

桜咲く四月、子供の手を引き小学校へ入
学した頃から子供達は大きく成長し、今、様々
な悩みを抱える多感な時期を迎えておりま
す。私たちPTAはそんな子供たちの健全な
成長の助となるべく時には毅然とした態度で
社会を生きてゆく厳しさを説くことも必要
と考えます。

parent (親) teacher (先生) association
(共通の目的で集まった社会教育集団) がPTA
Aの本質であるとすれば、「子供たちの心身の
健全な成長」を地域全体で温かく見守り、
子供たちが自分の進むべき道に迷ったときは
一緒に悩み、考え新たな歩を踏み出す手助
けをする事が本来の目的であるはず。

昨今、社会情勢は様々な角度から日々目ま
ぐるしく変貌しており、今後子供たちが社会
へ出るときの環境はどのような状態になるか
未知数ではありますが、PTA活動により、子
供たちの成長をサポートし、それぞれの子供
が人生のどこかで輝くことができるようなPTA
A活動を進めたいと考えますので、皆様方の
更なるご協力をお願い申し上げます。



東海大学付属諏訪高等学校
校長 中村 正幸

諏訪という街に魅せられて

平成から令和になるその年にこの地に勤務することになった。大阪生まれの大阪育ちである。根っからの関西人である。関西人といえばズケズケとモノを言う関西のおばちゃんを想像すると思うが、小生は結構ナイーブなのである。大阪の下町で育ち、大学こそ関東に出たが大阪弁はしみついていたのである。三月にはじめてこの地に足を踏み入れた。寒かった。大阪ではスノータイヤなどは無縁であったがこちらでは必需品であることがよく分かった。

山が綺麗だった。星が綺麗だった。空気が澄み渡っていた。間違はなく今まで触れたことのない空気であった。この土地で暮らせることに感謝した。神様が住むという街。諏訪。この地に來られたことに何か運命を感じるのである。

四月。はじめて先生方と出会う。緊張した。生徒諸君と初めて出会う。やはり緊張した。関西人特有の「つかみ」を試みるが見事にスルーされる。やるな「諏訪っ子」・・・「負けへんで」・・・。

五月。九連休に突入。初めて経験するスーパーゴールデンウィークである。長野から山梨へとドライブに出かけた。本当に素敵な街である。まさに風光明媚、絶景である。人の優しさにもいたるところで出会えた。いい人たちがいっぱいいる街だ。いろんな方に親切にされる。

六月。各クラブ活動が成果を挙げてくれた。まさに文武両道である。あらためて生徒の努力に敬意を払いたい。おめでと。ご苦労様。残念。また頑張ろう。勝負には勝ちと負けしかない。生徒達がいける笑顔で喜ぶ姿。これが我々にとって最高のご馳走なのである。夢破れて泣き崩れる生徒達を見るのは本当に辛いものなのである。だが勝利から学ぶこと、負けから学ぶことをクラブ活動は教えてくれるのである。

全国大会出場は高校三年間のみ期間限定のものなのである。東大は何年浪人してもいけるのである。

七月。長い梅雨が明けたのは七月末であった。こちらの梅雨は爽やかな梅雨であった。大阪の梅雨とは全く違っていて快適であった。野球部残念。全校生徒応援ありがとう。一緒にあの空気を味わえたことが何よりも教育なのだと思います。

八月。生徒諸君は自分の夢に向かって懸命に努力してくれていると思う。悔いのない夏休みにしてくれればと心より思います。そして元気な姿で会いましょう。

この会報は十月下旬に配られるそうです。その頃はもつと素敵な季節になっているでしょうね、この諏訪の街は。紅葉のシーズンがやってくるね。楽しみ！

新任職員紹介



養護教諭
守屋 未来 先生

はじめまして。四月から養護教諭として着任いたしました守屋未来と申します。前任は県立高校で二年間勤務していましたが、不安と緊張で始まった学校生活ですが、生徒たちの笑顔と優しさに支えられています。

東海の生徒の個性と才能には毎日驚かされます。高校生にこんなことができるなんて！と発想力やパワーに感心するばかりです。タイトなスケジュールをこなす姿には、こんなに頑張ってる大丈夫！？なんて、つい心配になってしまっただけ。悩みながらも前に進もうとする姿や、苦しい時も周りを慮る優しい心に、はっとさせられることもたくさんあります。

入学時に提出していただいた健康カードをめぐりながら、保護者の皆様が大切に育ててくれたことを感じ、生徒たちの健康を支え、応援したいと強く思いました。

日々学ぶ心を大切に励んでいきます。どうぞよろしくお願ひ致します。



保健体育科
行田 潤 先生

本年度よりお世話になっております行田潤と申します。三月まで公立の中学校に勤務し、定年退職を迎え四月より本校に勤務させていただいております。保健体育の授業とハンドボール部の顧問をさせていただきます。

三十八年間の教員生活の中で大切にしてきたことの一つに「言葉」の持つ意味を大切し、伝えたいということがあります。今まで生徒に、保護者の方に、そして教員仲間へ伝えてきたいくつかを紹介させていただきます。新任の挨拶とさせていただきます。

「誰でもできることを誰にもできないくらいにやる。物事を成し遂げるための秘訣」

「明るい時には星の輝きに気づかない。暗い夜道を一人歩くとき 星の明るさに驚かされる。そんな星があなただけの大切な人。」

「今日の我に明日は勝つ」

「群れるな 集え」

「天に向かってぶつぶつ言うな。雨の日には雨の日の過ごし方がある。」

「天才とは続ける才能のこと」

「実力の差は小さい。努力の差は大きい。」

「限界は超えるためにある。夢は叶えるためにある。」

ほんの一部ですが、自分を励ます、

自分を癒してくれる言葉を持ちましよう。何か参考になれば幸いです。よろしくお祈りします。



保健体育科
新村 守 先生

本年度よりお世話になっております、保健体育科の新村守と申します。昨年度までは、新潟県の高校に勤務してました。二〇〇四年に卒業し、この度ご縁を戴きまして母校に戻ってくる事ができました。

「授業や部活動に真摯に取り組む姿勢」は、私の在学時から脈々と続いていると感じ、嬉しくとも誇らしく思いました。そして、もう一つ当時と変わらない教職員のみならず来校者に向けられる元気な「挨拶」。本当に素晴らしいと、教員の立場になって改めて感じました。

部活動では、陸上競技部の顧問として指導させて頂いています。競技実績のみならず、文武両道を目指し、高校生の本分である勉学に励むよう指導しています。礼節を学び、社会性も身に付けてほしいと願っています。

生徒に寄り添い、生徒と共に成長していきたいと心改にしております。宜しくお祈り致します。



家庭科
小岩井 せつこ 先生

今年から、家庭科非常勤講師として二年生を担当させて頂いております。小岩井せつ子と申します。初出勤の前に、通経路の下見を数回程したのですが、その度に空気の清々しさ、何処までも抜けるような青い空、八ヶ岳が綺麗に見える環境の良さに感動しています。学校全体の施設も大変美しく気持ち良く、校舎が小高い所にあつて高原の清らかな空気の流れを感じ、一日の始まりに心が洗われる思いが致します。

四月の着任式においては、廊下ですれ違う生徒の皆さんの挨拶や移動の姿勢の美しさに、文武両道の実践を感じました。また、家庭科の授業においては、被服製作の手縫いの針目の出来栄えがとても良く、根気強さに感心しています。このような素晴らしい環境の中で働かせて頂けることに、大変感謝しております。そしてこれからも、家庭科の授業を通して達成感を感じとり、いろいろなことへの原動力に繋げて頂けると嬉しいです。



家庭科
横内 八重子 先生

本年度より、家庭科担当者としてお世話になっております。

昨年度までは、松本市内の私立高校に勤務していましたが、縁があつて区切りの歳に新しい環境で勤めさせていただきます。

くことになりました。

不慣れで不安でもありましたが、先生方の優しいサポートや、明るく爽やかに挨拶をしてくれる生徒たちに元氣をもたらしています。今は東海大学付属諏訪高等学校に勤めさせていただいたことを嬉しく思っています。担当している生徒は家庭科の授業のある二年生だけですが、できるだけ話をする機会を持ちたいと思っております。

授業におきましては、今までに得た経験を活かし、新しいことも取り入れ、楽しい授業になるように考えていきますので、よろしくお祈りいたします。



情報科
吉澤 芳美 先生

今年度よりお世話になっております、情報科の吉澤芳美です。一学年の情報科の授業を担当しております。

大学卒業後、IT企業に就職しその後独立。現在もデザイナーをメイン業務にパソコンに関係する仕事をしております。

情報化社会と呼ばれている昨今、パソコンの技術はもちろんネットの知識やメールが必要とされています。平成最大の発明品と呼ばれるスマホの普及により、誰でも簡単に世界と繋がる事ができる時代です。しかし情報技術のみが先行し情報機器の扱いやネット使用上のモラルが欠如している若者が多くいます。さらにパソコン離れが若い世代に多く見受けられます。便利だからこそ上手く使う方法を学んでほしい。そして人生を豊かに

する糧としてほしい。そんな想いからこれまで培った経験と技術を伝えるため教員になりました。

教員として足りない部分は多々ありますが、日々先生方とより学ばせていただいております。よろしくお祈り致します。



国語科
北沢 亮介 先生

本年度よりお世話になっております北沢亮介と申します。教科は国語、部活動はハンドボール部の顧問を担当させて頂いております。また、望星寮の寮監も務めさせて頂いております。二〇一四年度に本校を卒業し、愛知学院大学文学部日本文化学科へ進学しました。大学ではバレーボール部に所属し、文武両道全力で打ち込んで参りました。そして、今春大学を卒業し、心新たに東海大学付属諏訪高等学校へ赴任させて頂きました。母校で教鞭をとることを大変嬉しく思います。

私は、人間関係を構築する上で最も大切なことは、「コミュニケーション」だと思っております。最近では、若者のコミュニケーション能力の低下が問題視されています。そんな社会背景を踏まえ、国語の授業を通じて「話す力」「聴く力」の大切さを伝えていきたいと考えます。人と話をする事が楽しいと思える授業を提供していきたいと思っております。

若輩者ではございますが、学校のため、生徒のため、粉骨砕身精進していく所存でございます。よろしくお祈り致します。



英語科
坂本 萌々佳 先生

本年度から英語科担当としてお世話になっております、坂本萌々佳と申します。私はこの学校を卒業した後、ハワイ東海インターナショナルカレッジに進みました。その後は英語科教育に関する知識を深めるため、福岡教育大学に編入し、この春からまた母校に戻ってこられたことをとても嬉しく思います。

私たちが暮らしている現代では、今までの国や地域の型にはまらず、ヒトやモノなどが地球上で簡単に行き来できるようになりました。そんなグローバル社会では、英語は単なるSecond Language (第二言語)ではなく、International Language (世界共通語)として使われており、学問やビジネスだけでなく、情報の殆どが英語です。こうした社会で必要な力を生徒たちにぜひ身につけてもらいたいと思っています。

私はこれから言語力はもろろん、豊かな国際感覚やコミュニケーション力を育成できる授業づくりを目指し、将来地球を舞台に活躍していく生徒とともに成長していきたいと思っています。よろしくお願い致します。



英語科
アリーナ・ペレス・ゴメス 先生

こんにちは。今年から本校で勤務しているALIT (外国語指導助手) のアリーナです。私はメキシコに生まれましたが、アメリカに長い間住んでいました。アメリカのアイオワ大学で言語学を専攻していました。外国語に興味があり、スペイン語・英語・フランス語・ポルトガル語が話せます。日本語も難しいですが、努力して学ぼうと思っています。

アメリカで私は、3年間英語を教えていました。教えていた生徒たちは、多くの諸外国から来ていて、アメリカに住んで生活をしていました。私にとってこれはとても素晴らしい体験でした。

私が来日したのは五年前になります。5年前に、長野県須坂市で2つの中学校にALITとして勤務し、生徒たちと英語で交流しました。彼らは、優しく、英語を一生懸命学ぼうとしていました。毎日、学校に行くのが楽しくて仕方ありませんでした。また、日本の学校について多くを学ぶことができました。次に、2年間、長野市の幼稚園で勤務することになりました。そこで、私はイメージ教育を実践している英語クラスの担任をしました。生徒たちは全て英語で毎日生活しなければなりません。

今、本校で高校生を教えることができ、毎日ワクワクしています。勤務して間もないころは、生徒たちが恥ずかしがってしまっているのではないかと心配していましたが、東海大諏訪高の生徒達は常に面白く、

親切に接してくれました。またコミュニケーションを取ろうと頑張っている彼らの姿があり、楽しく毎日授業を受けてくれています。

私は、生徒が間違えることを恐れずに英語を使って学べるような授業を心がけています。間違えることは、悪いことではありません。間違えることで多くのことを学ぶことができます。また、日々、授業では試行錯誤をして生徒の興味関心を喚起できるあらゆる方法を発見していきたいと思っています。生徒には、英語を習得することで、外の世界とどのようにつながることができるのか学んで欲しいです。

世界中の人とコミュニケーションを取ることには楽しいです。皆さんも一緒に英語を学んでみませんか。





「運転手」

原地区 河内 弥生

「お母さんはあなたの運転手じゃないよ！」私が高校生の時に母に言われた言葉です。毎日の駅までの送迎＋休日の遊びの送迎・・・ほぼ毎日のように「お母さん送って」と当たり前のように言っていました。

今、私が母になり四人の子供の送迎をしています。みんな運動系の部活に入っているのほとんど休みもなく送迎の毎日です。四人もいると週末の練習や試合は集合時間も分単位で違うくらい。方向もあちこち。おまけに私の仕事は土日関係なく変則勤務。父母だけではどうにもならない時は祖父母にお願いすることも度々・・・。

東海に通う長女は朝早いときは五時半には部活に行く・・・正直本当に大変です。そんな私の気持ちを分かっているのか、いないのか・・・長女は「誰と行けばいいの?」「どうやっていけばいいの?」等々。高校時代の私のように送ってもらおうのが当たり前の態度。本当に心底「イラッ」とすることがあります。でも、当時の自分を思い出すと、私も親の気持ちなんて考えずに当たり前のようを送迎してもらい、友達と毎日楽しく過ごしていました。大変だっただろうな・・・と自分が送迎する立場になり理解することができました。今思うことは、親の送迎があったからとても楽しい高校生活を送れたのだろうかということ。

長女が私と違うのは遊びではなく部活と言うこと。長女がとてもやりたくて入った部活。朝早かったり、暑かっ

たり、寒かったりと大変な部活だと思います。長女はあまり自分のことは話しません。でも、本当に楽しそうです。そんな姿を見てみると、一生懸命頑張っていることを誉め、応援してあげたいと思います。どう応援するのだろうか?親として何をしてあげられるのだろうか?と考えたとき、私ができる事は送迎する事くらいです。一生に一度の高校生活。充実した高校生活を送れるように、大人になった時に「楽しかった」と思えるように。毎日の送迎で長女を応援していこうと思います。

あと一年半。この生活が終わったらきつと寂しくなるのだからなと思います。

「努力と根性十女は愛嬌」

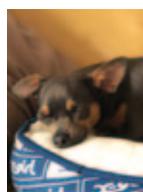
東部地区 舟橋 寿江

早いもので娘の高校生活も半ばまでできてしまった。親にとっては年を重ねるごとに月日は流れるように過ぎていってしまうが、高校生活ほど濃密な毎日ではなかったかもと、振り返ってみると感じる。

中学三年間、吹奏楽部で部活三昧の生活をしていたが、昨年の四月に入学してからも同様、入学式当日から彼女の生活は再び吹奏楽漬けの毎日である。今年の夏は特に、高校野球の応援、総文祭で佐賀への遠征、コンクールも県大会出場まで進むことができ、市内外の招待演奏まで、引つ張りだこの日々。よく体調も崩さずに頑張っているなあと感心している。若さのみならず根性と頑丈さは彼女の強みである。そして、仲間や先輩・後輩、先生方に支えられながら演奏することの楽しさ、練習の大切さも、教わる中に染みついているからこそ、乗り越えられるのであろう。これからの定期演奏会も楽しみである。

もうひとつ、彼女の高校生活に変化をもたらしたものがあ。二年生に進級するときに自分の進みたい道には、出来ることだけでなく、やらねばならないこ

とができてしまったため、普通科から理数科へと転科をした。一年生の時ほど部活三昧の毎日を過ごせなくなった。新しいクラスメートとの生活、苦手な数学、授業内容もおそらく変化しており、あまり私たちには見せないが苦労しているのかもしれない。学校から帰って疲れて寝てしまっても、夜には再び起きて机に向かう姿がある。時折、沈没しているが、やる気の姿勢は褒めてあげなければと思う。建学祭ではクラスの実行委員を引き受け、クラスの一人として役割ができた。本来の彼女らしさがでてくればと思う。とはいえ、もう高校生。親なんて大して役に立たないものである。仲間や先生方に支えられ、卒業まで夢ややりたいことに向かって突っ走って欲しい。



「朝娘の朝寝姿」

長峰地区 藤田 昌寿

それは、限りなく平凡で限りなく日常的な光景ではあるが、必ず毎月・毎週・毎日やってくる朝の出来事である。必ず同じ、不思議と「全く同じ光景が」規則的に観察できる。まず起床の順番である。妻の携帯のアラームより必ず最初に起きるのは、昨年度のメンバーに新しく加わった犬のmona(3kg程度の小さな雌)である。夜は一番に眠りに入るからだろう。また、一度寝たらあまり起きない。番犬としては如何な事と思うが、そこは全員一致で許されている。その後妻の髪の毛を引っ張り寝起きが『やや悪い』妻を目覚めに導く。「痛い痛い痛い」。多分必ず三回口に出した後に起床する。その後、monaのベットシートを交換し、餌をゲージにセットする。その後トイレに行くが、その後必ず携帯のアラームが鳴るが止めようとしない。良い方に捉えようと、朝の僕に対するモーニングメッセージ＆『やや寝起きの悪い』妻からの日頃の仕返しなのか定かでないが、予想通りのアクションに安心し現実として受け入れている僕

がある。最後は娘である。妻からの一回目のモーニングコールは朝の自宅に響くナイスな音色であるが、二回・三回と響くに従い、不協和音に変化する。中々の音域の持ち主である妻に対して、何とも言えない尊敬と孤独感を覚える。四回目に移行すると不協和音に加えて、monaの髪の毛引張りというオプシジョンが加わり、娘の朝が華々しく・険しくスタートする。トイレ↓洗顔&寝癖直して毛先をウオーターズプラッシュ↓携帯チェック&モーニング摂取。その後顔面と髪の毛をセッティングし漸く、学校という戦場に繰り出す準備が整う。

毎日繰り返し返される、どのお宅でも拝見できるルーティンに家族は癒され毎を送る。変らない毎日は、時として悪人呼ばわりされるが、毎日変らない日々を過ごせる幸せを、学校の皆様や近所の皆様、お世話になってのご友人の皆様に対して、深く感謝できる事・受けた恩は無駄にしない事・独りで生きているつもりにならない事を、今後も親として厳しく教えて行きたいと考える。

「今、母とつなげる日々」

北部地区 矢崎 みちよ

親になりPTAというものに関わらせていただいてから、早十五年が経とうとしています。子育てをする上で感じていることは、保育園から高校まで学校や部活動等「PTA」と名の付くものには、どの家庭においても避けては通れない組織や役割がありました。今、こうして会報依頼がきたことも、PTAとしての何らかの？最後の務めや役割がやってきたと感じています。振り返ってみると、子どもと手を繋いでいた時間は本当に短く、いつの間にか、子どもは親と距離を置くようになり、親もどこか子どもと距離を置き始めているそんな時期になりました。

子どもが中学時代、親も部活動や塾等の送迎でとても忙しい時期がありました。その頃、ある先輩ママがこん

なことを言ってくれました。「忙しいね。でも、今が子育て充実期だね。」人生の中で、子どもと同じ事で楽しんで関われる事がある、親として必要とされている事がある、それが「今」であること。それは本当に「短い期間」だということを先輩ママが教えてくれたような気がして、今も私の中で心に残る言葉として生きています。

成長するということは、全てが初めての事ばかり。成長の中に「道の始まり」があり、その道を歩いている時はただ無我夢中で、道の終わりに気づかぬうちに、また新たな道の始まりに立っている、そんな気がします。また、子どもを通していろいろな人と繋がれたのも、この「道の中」でのことでした。「こんにちは」「またね」を繰り返しながら友人の輪が広がり、出会った皆様に感謝すると共に、その出合いをセッティングしてくれた子供にありがとうと言いたいと思います。

いよいよ我が子ども高校生活の半ばを過ぎ、進路選択を考える時期に入ってきました。我が子がどんな進路を選択しても、子どもを信じて送り出せるような親でいられるよう、親離れ子離れの準備期間を大切に過ごしていきたいと思っています。



東北信地区 瀧澤 佐智

「夢を追う日々」

私の家族は夢追い人ばかりです。夫をはじめ子ども達もそれぞれ夢に向かって歩いています。特に子ども達には「やりたいことを見つけて必死になって追いなさい」と小さい時から言ってきました。なぜなら将来自分の好きなことを仕事にできるは何よりも幸せなことだと思えます。「好きなことを仕事にする」誰もが願う夢かなえるということ。しかしそれが何よりも大変なこと、努力が必要なことなのをつくづく感じます。

例えば息子が小学4年の1/2成人式の時に「プロサッカー選手になりたい」と発表した日から、未だぶれ

ずにその夢を追っているのですが、私はその時はよくあるかいい夢だと思っていました。だって絶対無理だと思っただから。でも夫の反応は違いました。「やってできないことはない。今からだって死ぬ気でやればなれるかもしれない」と。少年サッカーチームに入ったのはその後、5年生の時でした。当時はリフティングすらろくにできませんでした。ですが夕方学校から帰ると毎日ボールを持って出かけていき練習するようになりました。少しずつ上達し、チームでサッカーをする事が楽しくなりました。子どもが諦める前に親が諦めちゃダメなんだな」と。

息子は今、あの時間流していたら無かった未来で東海に入学し親元を離れて寮生活をしています。好きだから頑張れる、好きだから続けられるし楽しい。だけど好きな分分胆する、受ける傷が深かったり、迷ったり。貴重な経験をたくさんしています。その全てが本気で取り組んできた証です。全力で自分の夢に向かうこと、その経験が将来自分を支える力になると信じています。それさえあれば、その先何をして生きていこうと大丈夫。まずは卒業までの一年半、恵まれた環境に感謝し、仲間と共に全力で夢を追いかけて、充実した高校生活を送ってほしいと思っています。

「新天地」

中信地区 北原 弥生

昨年の春、入学式へ向かう車中から諏訪湖が見えた時、こんなに遠い高校に三年間通えるのか不安になりました。担任の先生が「東海大諏訪高校を選んでくれてありがとう。最初から決めてくれた人、途中から決めてくれた人、そして第二希望として選んでくれた人がいると思います。今、この瞬間から皆で新しいスタートラインに立って充実した高校生活を送ってほし

「と思います。」とのお言葉に第二希望として入学が決まった私達親子には心温まる励ましと背中を押していただいたの新生活となりました。

高校でも続けたかったサッカーと大学進学のための理想である文武両道の道は、とても困難なものでした。この選択が正しかったのか？息子と私は口にはしませんでした。が何度も自問自答しました。

なんとか皆に追いついてきた秋からケガが癖になってしまい、痛みと向き合い辞める決心をした時に「まだ、その時じゃない。まだ、おまえにできることを全部やりきってない。」と顧問の先生方や東海先輩方や仲間、仲間を引きとめていただき、しばらく治療に専念して、仲間のサポートとウエイト中心の練習になりました。

このことをきっかけに、まだここで、東海の皆とサッカーをやりたいと、迷いや弱さが吹っ切れ、ここで自分らしく自分を信じて、やれることをやりきろう！という気持ちになり、この夏の遠征で本格復帰することができました。

先生方やサッカー部の皆さんの励ましがなければ乗り越えることはできなかったと思います。

この一年の送迎で忙しかったので、いつも東海の保護者の皆様に送迎や前泊をさせていただき、大変お世話になり感謝しております。皆さん、本当にありがとうございます。

高校生活も半分を過ぎ、不思議ですが、もう茅野が遠いと感じなくなっています。たくさんの素敵なご縁をいただき、この新天地を卒業するまで、成長をしていく息子を見守って応援できることが楽しみになりました。

2018年度卒業生進路結果(2019年3月末日現在)

進路先	普通科			理数科			合計		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子計	女子計	総計
東海大学	54	19	73	1	2	3	55	21	76
東海大短大	4	12	16				4	12	16
国公立大学	1	5	6	2	2	4	3	7	10
他大学	24	38	62	3	5	8	27	43	70
他短期大学	3	11	14				3	11	14
専門学校	21	33	54	2	1	3	23	34	57
就職	13	6	19				13	6	19
その他	1		1				1		1
未定	5	2	7		1	3	5	3	8
合計	126	126	252	8	11	21	134	137	271
大学・短大	学部	普通科		理数科		合計			
		男子	女子	男子	女子	男子計	女子計	総計	
東海大学	文学部	4	4			4	4	8	
	文化社会学部	8	2			8	2	10	
	政治経済学部	4	2			4	2	6	
	法学部	2				2		2	
	教養学部	1	1			1	1	2	
	体育学部	9	1			9	1	10	
	健康学部	4	2			4	2	6	
	理学部	2	1			2	1	3	
	情報理工学部	7	1			7	1	8	
	工学部	11	3			11	3	14	
	観光学部		1				1	1	
	情報通信学部								
	海洋学部	1		1		2		2	
	医学部(医)				1		1	1	
医学部(看護)		1				1	1		
基盤工学部	1			1	1	1	2		
小計	54	19	1	2	55	21	76		
東海大学静岡短期大学部	3	7			3	7	10		
東海大学医療技術短期大学		1				1	1		
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	1	4			1	4	5		
小計	4	12			4	12	16		
総計	58	31	1	2	59	33	92		

主な進学先

【主な国立大学】

信州大学(2)、山梨大学、鹿屋体育大学、公立長岡造形大学、長野県立大学、公立諏訪東京理科大学(2)、都留文科大学、県立前橋工科大学

【主な私立大学】

法政大学(2)、中央大学(2)、関西大学、立命館大学、専修大学、國學院大学、近畿大学、玉川大学、順天堂大学、神奈川大学、神田外語大学、中京大学、国際医療福祉大学、明治国際医療大学、松本大学(3)、山梨学院大学(2)ほか

【短期大学】

松本短期大学(7)、愛知学泉短期大学、信州豊南短期大学(2)

【専門学校】

大原学園松本校(8)、諏訪中央病院看護専門学校(2)、佐久総合病院看護専門学校、あいち医療福祉専門学校、池見東京医療専門学校、エプソン情報専門学校、信州医療福祉専門学校、松本理美容専門学校、日本工学院専門学校ほか

【就職】

長野県警察、下諏訪町役場、愛知県豊川消防局、JR東海、カゴメ、セイコーエプソン、長野オリンパス(2)、野村ユニソン、ホームズ技研、ニッター、KOAほか



建学祭バザーを終えて

建学祭バザー委員長 小林 美智子



長くPTA役員から遠ざかっていた私ですが、縁あって、今年度、バザー委員長を引き受ける事になりました。緊張や、不安の中にも、何か新鮮さを感じていました。

まず考えたのは、バザーで、何を販売すれば、子供達に喜んでもらえるか、でした。子供達の楽しい思い出のお手伝いが出来たらいい、子供達の笑顔が見たい、ただ、それだけでした。

当日は、毎年慣例になりました焼鳥の販売を行いました。一日目、三千本、二日目、一八〇〇本、完売でした。また、今年初めて販売した、サーティーワンのアイスも、二日目の分まで、一日目で終わってしまうほど好評でした。きゅうりの浅漬の販売も行いましたが、これも人気で、テント脇では、きゅうり片手に、写メを撮ったりしている生徒がいるくらいでした。とても可愛かったです。

建学祭、終わってみれば、全ての物が完売という、喜ばしい事でした。生徒、保護者、更には、地域の皆様にお越しいただけた結果だと思っております。又、熱々の焼鳥をスムーズに提供出来たのは、保護者と先生達の連携プレーのおかげだとも思っております。

慣れない役員の中、販売品を考えたり、準備をしたり、とても大変で苦労しましたが、当日、子供達の楽しんでいる顔、喜んでる顔、自分の親が来ていて、少し照れている顔、色んな子供達の顔を見る事が出来、このバザー委員をやった良かったと感じました。

バザー品を提供していただいた、保護者の皆様、学校へ足を運んでいただいた、地域の皆様、OBの皆様、ご協力ありがとうございました。又、このPTAバザーを盛り上げる為に協力していただいた、委員の皆様、先生方、本当にありがとうございました。とても楽しい二日間でした。子供達に感謝です。

展示部門



感謝

感謝の

建学祭PTA展示

建学祭展示委員長 小林 正

まずは、作品を出展して頂きました皆様へ感謝申し上げます。素敵な作品をお貸しください誠にありがとうございました。量二量ほどの大きなものから指先ほどの小さなものまで、丹精に心を込めて作られた作品の数々に感動を与えて頂きました。そんな作品の中にと心をとめて落ち着かせる事ができました。時にはこんな空間に身を置くことも大切なことだと改めて感じさせて頂きました。先生方にもご協力頂くことができ、また、ひとりで数点の作品を出して頂いた方もいらしたので、近年では一番多い作品の展示ができたのではという声も頂きました。これも皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

次に副委員長をはじめとする委員の皆さんにも感謝申し上げます。多くの作品を集めて頂いた上、展示の日まで大切に管理して頂きました。準備の日には率先して動いてくださり短時間できれいな展示をすることができました。また、建学祭当日はお忙しい中当番に当たって頂きました。片付けも短時間で行って頂き作品を出展者様までお返しするところまで本当にご苦勞様でした。これも皆様のご協力に感謝です。

担当をして頂きました天笠先生と伊藤先生にも感謝致します。私達委員が困ることのないようにご指導と準備をして頂きました。おかげさまで委員の皆さんが手際よく動くことができたのだと思います。また、先生方の作品も集めて頂きました。ありがとうございました。期間中、多くの方にPTA展示に足を運んで頂きました。これも感謝です。本当にありがとうございました。

このように多くの感謝が無事に開催することができました。感謝を感じることで、PTAの活動は多くの方々を支えられているのだと実感させて頂きました。本当にありがとうございました。

かがやく部活動 栄光の記録

柔道部

長野県ジュニア柔道体重別選手権大会

2019年4月7日

個人戦

鈴木 明日 (60kg級) 優勝
 出口 隼矢 (66kg級) 優勝
 小澤 志賀 (81kg級) 優勝
 上條 宝来 (90kg級) 優勝
 水野 力斗 (100kg級) 優勝

長野県高等学校総合体育大会柔道競技大会

2019年5月31日～6月2日

個人戦

吉池 優樹 (73kg級) 優勝
 小澤 志賀 (81kg級) 優勝
 上條 宝来 (90kg級) 優勝

団体戦 優勝

北信越高等学校総合体育大会柔道競技大会

2019年6月16日

個人戦

滝沢 春樹 (100kg超級) 第3位

北信越ジュニアオリンピック柔道体重別選手権大会

2019年7月7日

個人戦

出口 隼矢 (66kg級) 優勝
 小澤 志賀 (81kg級) 2位

卓球部

南信高等学校総合体育大会卓球競技会男子シングルス

2019年5月11日

小日向温史 9位

長野県高等学校総合体育大会卓球競技会

2019年6月1日

小日向温史 男子シングルス9位

長野県卓球選手権 兼 全日本(ジュニアの部)南信予選会

2019年8月31日

上館 篤 予選リーグ突破
 井上 圭太 予選リーグ突破
 山崎 莉緒 予選リーグ突破

女子バドミントン部

南信高等学校総合体育大会バドミントン競技会

2019年5月12日～14日

個人戦

武居 翼 シングルス ベスト4

団体戦 ベスト4

陸上競技部

第59回長野県陸上競技春季大会

2019年4月13日～14日

個人戦

小林 亮太 5000mW 優勝 21:06.80
 稲垣 和奏 5000mW 優勝 26:02.95
 遠山・市川・今井・河野 4×100mR 優勝 42.72
 北岡依生希 100m 優勝 12.85 -3.3

南信高等学校総合体育大会陸上競技大会

2019年5月10日～12日

個人戦

小坂 晃大 200m 優勝 21.85 +1.1
 小坂 晃大 400m 優勝 48.98
 小林 亮太 5000mW 優勝 22:14.25
 北岡依生希 100m 優勝 12.28 +0.8
 北岡依生希 200m 優勝 25.28 -0.6
 小林 舞香 400m 優勝 59.30
 小林 舞香 800m 優勝 2:23.10
 稲垣 和奏 5000mW 優勝 28:53.91
 遠山・市川・今井・河野 4×100mR 優勝 42.72

団体戦 女子2位

長野県高等学校総合体育大会陸上競技会

2019年5月24日～26日

個人戦

小林 亮太 5000mW 優勝 21:08.12

北信越高等学校総合体育大会陸上競技対校選手権大会

2019年6月13日～16日

個人戦

小坂 晃大 400m 優勝 47.54
 小林 亮太 5000mW 優勝 22:23.62
 矢島 琉聖 5000m 第7位 14:59.10
 北岡依生希 100m 第2位 12.15 -1.1

第72回長野県陸上競技選手権大会

2019年7月6日～7日

個人戦

小林 亮太 5000mW 第2位 21:04.37
 北岡依生希 200m 優勝 24.59 +0.5
 長野県高校新記録 大会新記録

小林 舞香 800m 優勝 2:14.59

第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

2019年8月4日～8日

個人戦

小坂 晃大 400m 第7位 47.76

少林寺拳法部

長野県高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会

2019年6月2日

個人戦

上條 琉聖・小山 諒 男子組演武 1位

団体戦 1位

北信越高等学校総合体育大会少林寺拳法競技

2019年6月15日～16日

個人戦

上條 琉聖・小山 諒 男子組演武 3位
 千葉 典胤・浅川 友来 男子組演武 5位

団体戦 3位

全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会

第46回全国高等学校少林寺拳法大会

2019年8月2日～4日

個人戦

上條 琉聖・小山 諒 男子組演武予選I247点予選II257点
 千葉 典胤・浅川 友来 男子組演武予選I252点予選II255点

団体戦 準決勝

少林寺拳法全国大会inあいち 長野県予選会

2019年8月25日

個人戦

上條 琉聖 小山 諒 1位

団体戦 1位**ソフトテニス部****第74回国体ソフトテニス競技長野県選考会****兼 ハイスクールジャパンカップ長野県選考会**

2019年4月20日

個人戦

熊谷 和奏 岩井 莉里華 優勝

長野県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会

2019年6月1日~2日

団体戦 3位**男子バレーボール部****第69回中部日本6人制バレーボール総合男女選手権大会県予選会(高校の部)**

2019年4月21日

4位

南信高等学校総合体育大会バレーボール競技大会

2019年5月11日~12日

準優勝

長野県高等学校総合体育大会バレーボール競技大会

2019年6月1日~3日

ベスト16

第18回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会長野県予選会

2019年6月23日

関島 佑斗・今井 駿世 優勝

中山 佳樹・伊藤 健成 第2位

第72回国民体育大会ビーチバレー長野県予選会

2019年6月30日

関島 佑斗・今井 駿世 優勝

中山 佳樹・伊藤 健成 第3位

長野県私立高等学校バレーボール選手権大会

2019年7月21日

第3位

第18回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会

2019年8月9日~12日

関島 佑斗・今井 駿世 第3位

中山 佳樹・伊藤 健成 決勝トーナメント1回戦敗退

2019年度第7回北信越ビーチバレーボール選手権大会

2019年9月8日

関島 佑斗・今井 駿世 優勝

第72回国民体育大会バレーボール種目(ビーチバレー競技)

2019年9月12日~16日

関島 佑斗・今井 駿世 グループ戦敗退

女子バレーボール部**長野県高等学校総合体育大会バレーボール競技大会**

2019年6月1日~3日

2位

第55回北信越高等学校バレーボール選手権大会

2019年6月14日~16日

第3位

長野県私立高等学校バレーボール選手権大会

2019年7月21日

第2位

水泳部**長野県高校総体水泳競技大会**

2019年6月29日~30日

個人戦

竹内 友寿 200mバタフライ 2:18.68 6位

荒井 香名 100mバタフライ 1:06.79 3位

林 美月 400m個人メドレー 5:36.03 3位

松下 そら・荒井 香名・戸田 葵・林 美月
4×200mリレー 9:43.15 3位**長野県高等学校新人体育大会水泳競技大会**

2019年9月7日~8日

個人戦

林 佑希人 100m自由形 57.28 6位

篠田 宙 50m背泳 30.46 6位

竹内 友寿 200mバタフライ 2:18.23 3位

山岡 秀都 200mバタフライ 2:24.88 7位

林 佑希人・竹内 友寿・山岡 秀都・篠田 宙
4×50mリレー 1:46.15 4位

梨子田弥桜 50m平泳ぎ 37.72 5位

荒井 香名 100mバタフライ 1:09.76 6位

戸田 葵 400m個人メドレー 5:36.09 1位

林 美月 400m個人メドレー 5:37.52 2位

林 美月・梨子田弥桜・荒井 香名・戸田 葵
4×50m メドレーリレー 2:14.39 2位**団体戦** 女子総合3位・男子総合5位**弓道部****南信高等学校総合体育大会弓道大会**

2019年5月11日~12日

個人戦

細川 知里 個人戦女子第8位

男子団体戦 9位

南信高等学校新人体育大会弓道競技大会

2019年9月21日~22日

個人戦

柴田 和宜 男子個人戦4位

団体戦 団体戦3位**男子テニス部****南信高等学校総合体育大会・テニス競技大会**

2019年5月10日~12日

ベスト8

第74回国民体育大会テニス競技長野県南信地区予選

2019年7月6日

沖本 蓮・エリック Fブロック優勝

全日本ジュニア選抜室内南信予選

2019年8月7日

沖本 蓮・エリック ベスト8

第42回全国選抜高校テニス大会南信地区大会

2019年9月7日~8日

団体戦第5位

女子サッカー部

長野県高等学校総合体育大会サッカー競技大会

2019年5月26日～6月2日

3位

皇后杯 全日本女子サッカー選手権大会長野県大会

2019年7月7日～7月28日

ベスト4

第28回全日本高等学校女子サッカー選手権大会長野県大会

2019年8月31日～9月21日

3位

男子バスケットボール部

長野県高等学校総合体育大会バスケットボール競技会

2019年5月31日～6月2日

優勝

北信越高等学校総合体育大会バスケットボール競技会

2019年6月14日～16日

準優勝

全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技会

2019年7月28日～8月2日

2回戦敗退

第72回全国高等学校バスケットボール選手権大会 長野県選手権

2019年9月14日～15日

優勝

女子バスケットボール部

長野県高等学校総合体育大会バスケットボール競技会

2019年5月31日～6月2日

優勝

北信越高等学校総合体育大会バスケットボール競技会

2019年6月14日～16日

4位

全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技会

2019年7月28日～8月2日

1回戦敗退

第72回全国高等学校バスケットボール選手権大会 長野県選手権

2019年9月14日～15日

優勝

男子バドミントン部

南信高等学校総合体育大会バドミントン競技会

2019年5月12日～14日

3位

長野県高等学校総合体育大会バドミントン競技会

2019年5月31日～6月1日,3日

ベスト8

野球部

第140回北信越地区高等学校野球長野県大会(春季)南信予選会

2019年4月27日～5月5日

優勝

第140回北信越地区高等学校野球長野県大会(春季)

2019年5月11日～16日

優勝

第140回北信越地区高等学校野球大会(春季)

2019年5月30日～6月4日

ベスト8

第101回全国高等学校野球選手権長野県大会

2019年7月6日～21日

ベスト4

第141回北信越地区高等学校野球長野県大会南信予選会

2019年8月25日～9月8日

優勝

第142回北信越地区高等学校野球長野県大会

2019年9月21日～9月29日

ベスト8

演劇部

2019年度諏訪地区高校演劇連盟合同発表会

2019年9月15日

2位

音楽部

第15回長野県高等学校軽音楽系クラブ合同演奏会

中南信大会 Power Live 2019 CN

2019年5月25日

2バンドとも審査員推薦で県大会進出

吹奏楽部

第43回全国高等学校総合文化祭

2019年7月31日～8月1日

長野県高文連吹奏楽部会より推薦

第59回長野県吹奏楽コンクール 長野県大会

2019年8月3日

銀賞

第59回長野県吹奏楽コンクール 長野県大会

2019年8月3日

銀賞

第25回日本管楽合奏コンテスト 予選

2019年9月29日～10月2日

予選通過

ダンス部

第12回日本高校ダンス部選手権 関東・甲信越大会

2019年8月6日

出場

第14回長野県高等学校ダンスフェスティバル

2019年10月19日

